



ぎふ清流GAP通信

第27号 令和7年9月19日
(一社)岐阜県農畜産公社
ぎふ清流GAP推進センター

■はじめに

農産物の、農産物調製施設や農産物貯蔵場所等において、ペットや、有害生物の侵入による、排泄物からの汚染や病原菌の伝搬等、衛生管理におけるリスクの低減対策が重要です。

■GAPでの重要な視点(食品衛生管理「農産物取り扱い施設へのペット、有害生物の侵入防止対策」)

考え方

項目番号:作 5.3.5 は、農産物取り扱い施設へのペットや有害生物である野生生物や昆虫等の侵入による食品安全へのリスク対策です。
有害生物の侵入・発生の防止とモニタリング、排除する対策がこの項目ではポイントになります。



農産物取り扱い施設である農産物調製施設や保管施設等へのペットや有害生物の侵入を防止するのに何をすればよいですか？

- ・ペットや有害生物による施設内への主な侵入防止対策として、①外部との遮断、②誘因要因の排除があります。
- ・①は、戸締りをする、網戸を設置するなど、②は、施設内に寄せつけないよう餌となるゴミを放置しない、巣を作る材料を置かないなどがあります。
- ・施設入り口への防鳥網等の設置は、鳥よけに効果が期待できます。



有害生物の侵入・発生の「モニタリング」は、何をすればよいですか？

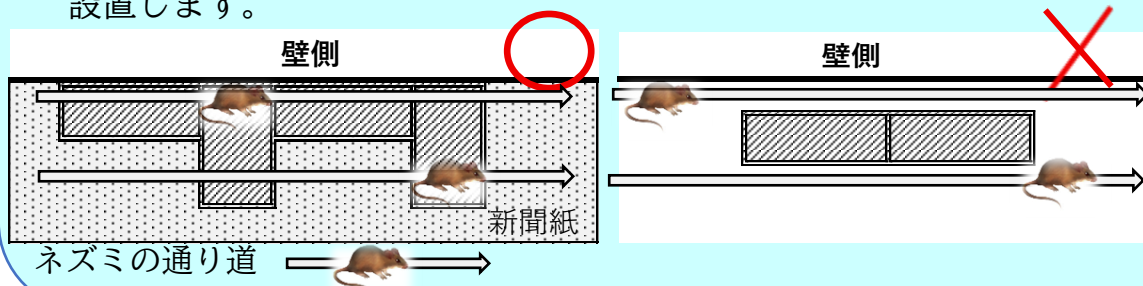
- ・日頃から野生動物や昆虫の糞や死骸が落ちてないか痕跡を観察し、侵入・発生の発見の手掛かりにします。特にネズミやゴキブリのモニタリングでは、粘着板を設置し、定期的に見回り捕獲状況を観察することが効果的です。鳥では、羽などの痕跡がないかも手掛かりになります。
- ・モニタリング調査した結果は記録しておくことをおすすめします。





ネズミ捕獲の粘着板の設置方法の注意点を教えてください。

- ・ネズミの足が油や水で汚れていると粘着効果が落ちるため、足ふき用の新聞紙を粘着板の周囲や下に設置します。
- ・壁伝いに移動する習性があるため、壁に沿って隙間なく設置します。
- ・一直線に移動するため、通り道の直線上に粘着版が配置されるように設置します。



そ族・昆虫への殺剤使用の注意点は何か？

- ・殺剤は、人畜に有毒な薬剤なので常に危害防止に努め、使用前後の取り扱い、保管管理にも十分注意する必要があります。
- ・中毒死したネズミや昆虫を放置しないよう死体は適正に片づけることが重要です。
- ・設置日、設置数、設置場所、捕獲数等を管理し記録します。



■ぎふ清流 GAP 評価の申請状況等について

9/19時点の評価状況等 (件数)

	新規	更新	合計
R7評価予定件数	25	23	48
評価済・申請中	6	4	10

・更新申請の受付は12月末まで、新規の申請は随時受け付けております。

・例年、申請期限の近くに申請が集中します。早めの申請をお願い

します。

・評価時に、生産もしくは出荷調製状況が確認出来ない場合は受付できません。

■「ぎふ清流GAP評価制度」に関する情報

Webサイト 検索 [ぎふ清流GAP \(岐阜県公式ホームページ\)](#)
制度の概要(要領・要綱の閲覧)、申請様式等のダウンロード、認証農場の紹介



■「ぎふ清流GAP通信」に関するお問い合わせ

(一社)岐阜県農畜産公社 ギふ清流GAP推進センター

電話:058-216-1566 FAX:058-216-1567 Eメール:gifu-gap@gifu-notiku.com